

精神科病院での園芸作業プログラム開発と効果検証

島根県農業技術センターでは、公立大学法人島根県立大学及び島根県立こころの医療センターと共同して「精神科病院での園芸作業プログラムの開発と効果の検証」をテーマに、実証調査を行っています。

農業技術センターでは、平成23年度から障がい者や高齢者にとって取り組みやすい園芸作業プログラムの開発とその効果検証を行っています。

実証調査は、県立こころの医療センターの精神疾患患者を対象にアサガオを用いた園芸作業を行ってもらい、農業技術センターが栽培指導を、県立大学看護学部が効果測定を、こころの医療センターが対象患者のフォローと日常管理をそれぞれ担当し、園芸作業プログラムの患者への効果を調査しました。

その結果、対象患者からは「毎日花が咲くのが楽しみだった」「来年も育てたい」などの感想が多く寄せられ、実施したプログラムが精神疾患患者に園芸作業への関心を持つきっかけとして有効であることが確認されました。

今回の成果を踏まえて、病院における園芸作業プログラムの改良にとどまらず、農業現場における障がい者就労に向けた支援や活動評価への応用など、今後は、開発したプログラムの様々な場面での活用を検討することとしています。



写真1 アサガオ栽培の様子



写真2 朝顔祭の様子